観光 広範囲に打撃

宿泊キャンセル20億円超

熊本地震は観光業にも大きなダメージを与えている。被害が比較的小さかった地域も観光客が減り、熊本県全体の宿泊予約のキャンセル金額は20億円を超えた。隣県も打撃を受けており、観光事業者からは影響の長期化を懸念する声が上がっている。

熊本地震による観光の窮状を訴える旅館「青風荘」の河津社長。地震後、予約キャンセルが相次いでいる（6日、熊本県南阿蘇村で）

全国に知られる観光地の熊本県・阿蘇地域。地震で同地域の阿蘇市、南阿蘇村は最大震度5弱を観測した。大きな被害は確認されなかったが、観光に従事する人の表情は暗い。

同村の老舗旅館「地獄温泉 青風荘」は、安全確認などで営業を3日間自粛して再開した。だが、余震の不安などを理由に14日までに約100組のキャンセルが相次ぎ、中には12月の分もあった。損失は900万円以上となっている。

青風荘は2016年4月の熊本地震で宿泊棟や温泉に被害を受けて20年に復旧し、コロナ禍を乗り越えたところでの地震だった。河津誠社長(64)は「自粛ムードがあるのではないか。復興のためにも足を運んでほしい」と気丈に話した。

阿蘇市の「道の駅阿蘇」の利用客は、地震から2週間以上たっても例年の7～8割にとどまる。広報担当の荒木和行さん(63)は「今年の夏は混雑を心配していたほどなのに……」と嘆いた。

熊本県によると、地震発生当日の7月28日から8月6日までのホテルなどの宿泊キャンセル金額（暫定値）は、県全体で20億6300万円に上った。

地震の被害は、宇城市、八代市など県中部から南部で大きかったが、北東部の阿蘇地域のキャンセルは全体の4割を占めた。

熊本県南部と接する鹿児島県の観光地では交通アクセスの制限が響いている。

「いおワールドかごしま水族館」（鹿児島市）は、地震発生1週間の来館者数は前年比で約3割減。城山ホテル鹿児島（同）も10日時点で、9月までの約5300人分の予約がなくなった。ホテル運営会社の渡千左代（ちさよ）専務執行役員は「新幹線が全線復旧しないと影響が長引く」と不安を口にした。

宮崎県も客足が遠のいており、県ホテル旅館生活衛生同業組合によ

時点で宮崎市な

6施設で約1万

キャンセルが出

阿蘇山噴火警戒「3」に引き上げ

気象庁は14日、熊本県・阿蘇山の噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）へ引き上げた。

中岳第1火口か

範囲で、大きな

流に警戒するよ

ている。

発表によると

7時頃から火山

幅が増大し、14

ス（二酸化硫黄

が1日あたり2

超えた。警戒レ

022年3月14

国の支援求める声も

熊本県内では観光事業への支援を求める動きが出ており、12日にはホテル・旅館関係者が県に対策を要望した。県は国と連携した支援を検討中で、木村敬知事は「熊本に『来て応援』をしてほしい」と訴える。

24年1月の能登半島地震で被災した石川県でも県全体の観光に影響が出たため、同県は国の助成を受けて宿泊費の補助事業を展開。8か月間で延べ約49万人の客が利用した。

東京女子大の広瀬弘忠名誉教授（災害リスク学）は「観光は被災地の経済を元気づける支援になる。観光客を受け入れられる自治体は歓迎していることを積極的に発信し、国も宿泊費の助成などを迅速に行うべきだ」と話している。

第7049回ナンバーズ
（14日夕公表）
（　）は当選口数
【ナンバーズ3】
ストレート 638
70,200円（139）
ボックス

第690回ロト7
（14日夕公表）
（　）は当選口数
本数字
03 10 14 17
18 20 25
ボーナス数字